

地域の防災リーダーを目指して



〈執筆者〉

長田消防団第6分団

分団長 平谷 實 さん

私が所属する長田消防団第6分団は、総員17名（上は61歳から下は21歳まで）が所属しています。

管轄地域は、北は神戸高速鉄道「長田駅」から、南は苅藻、東尻池、浜添、そして苅藻島までとなっており、住宅と地場産業の工場とが混在する地域となっています。

皆さまもご存じの通り、わが地域では、阪神・淡路大震災によって発生した火災で、多くの人命が奪われました。しかし、現在は少しずつ復興へと向かっています。

さて、最近のわが分団はといえば、若い団員が入団し、活気付いてい

るところです。

ただ、補充の仕方が悪かったのか、入団してくる若い団員は、

なぜか酒豪ばかり。正直、少し手を焼く面も

ありますが、嘆いてばかりではなく、新団員を

徹底的に教育して、一人前の団員に育てていくつもりです。

また、長年の念願であった、分団詰所を東尻池に建設していただいたおかげで、分団活動の拠点として有意義に活用させていただいています。建設にご尽力いただいた関係

方々に、本誌面をお借りして、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

ました。



阪神・淡路大震災後は、分団管内の公園などに小型動力ポンプが8カ所設置され、私たちは、毎月1回を

最低目標として、ポンプ巡回点検を実施しています。

その点検のたびに、地域の方々が気軽に声を掛けてくださるので、私たち団員にとっては大変うれしく、また、活動の励みにもなっています。

これからの消防団活動は、地域との連携を大切にしながら、多岐にわたる活動に対し、使命感を持って取り組まなければならないと感じております。そして、各自治会の防災活動や訓練に積極的に参加することはもちろん、地域防災におけるリーダー的存在を目指して、活動していきたいと思えます。

第6分団は、長田消防団の中では少し変わった存在ではありますが、今後ともよろしくお願い致します。